



少しの木とリラックス

B23C039 芳野了誠

Background

空間を木質化することは、その空間を利用する人にリラックス効果や子供の集中力助ける効果がある。このような心理的効果の他に、免疫力のアップや良い眠りを引き出す効果などの身体面にも良い影響を及ぼすこともある。

駅で電車やバス、親のお迎えを待つ何気無い時間を、「少しでもリラックスできるそんな空間があれば」とバス通学だった中高生時代に何度も思ったことがある。このような背景から、とても小さく利用人数も限られているが、そんな少しの望みを叶える木質空間を提案する。

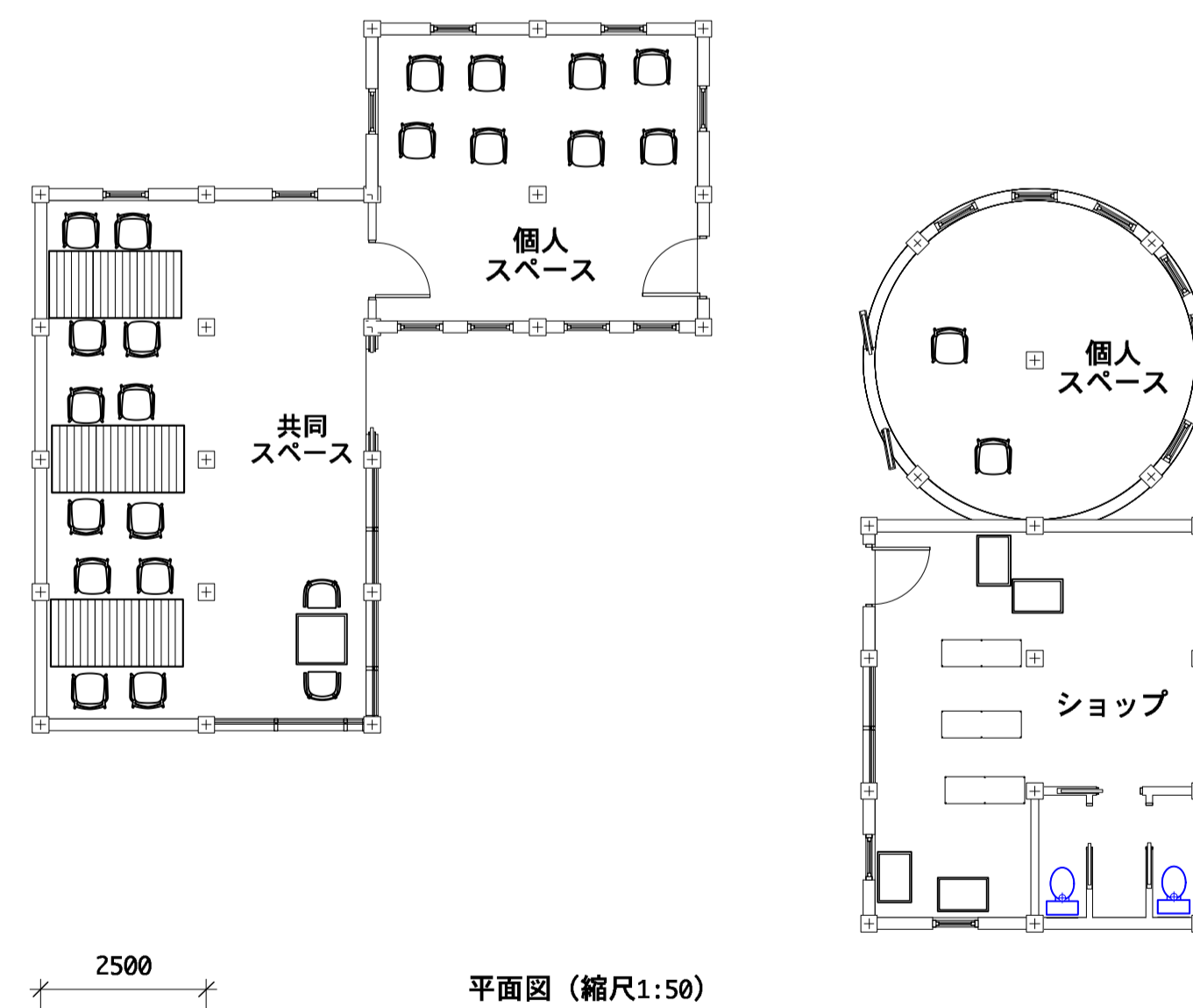
Location

羽後本荘駅西口前の広いロータリースペースに設置する。羽後本荘駅は、夕方になると電車を利用する人が増え、一般の方も利用する光景をよく目にする。電車やバスがくるまでの少しの時間に、少し立ち寄り、少しのリラックスを与えられるようなイメージを持って提案した。街中で木そのものを目にすることは多くない。都市に比べて高い建築物が少ない由利本荘市に、木を間近に見ながら落ち着ける、身近に感じられるような空間を人の行き来が多い場所に欲しいと思い、この駅前に配置したいと考えた。

Concept

この「少しの木とリラックス」は、電車を待つ1時間にも満たない時間に、木を感じて、少しの何気無い時間でも心地よさを体感できるようにと、駅を利用する全員へ向けた空間の提案である。一般の人よりは学生の方が駅で待つ時間が長いように思える。そのため、学習スペースがメインの空間になっており、小さなショップを備えている。秋田県はスギが名産であり、森林面積も広いので普段の生活の中に木材があることが当たり前になっている。駅で待つそのような日常の中でより身近に木を目にすることで、たくさんの人に少しでも木材について考えを持ってもらうことを期待したい。道の駅や学校など木質化されている建築が多くある秋田県だが、由利本荘市も、駅前空間から街へと木質空間増えていくことが理想である。

Floor Plan



Point

木材を利用することの利点には、次のようなことが挙げられる。

- ・リラックスや癒し効果などの心地よさを向上させる心理面の効果
- ・免疫力のアップやリフレッシュ、疲労感の緩和などの身体面の効果
- ・材料によって色味や艶具合などに大きく違いがあり、空間を様々な雰囲気に行わせる。
- ・再生可能資源であるため、環境への貢献が大きく、秋田産の木材を使えば、秋田のPRや地域経済の向上につながる。

木材利用から、環境と地域に貢献していくことで、街に木質空間を形成していく。

共同スペースのパーズ



電車やバスを待つ時間に、勉強したり、友達と話したりと、自由に利用してほしいスペース

ドーム屋根と個人スペースのある建物の間からみたパーズ



両隣にある建物は、一人で静かに過ごしたい人に利用してほしいスペース。1人席の身の配置を考えている。

ショップのパーズ



小規模ではあるが、少しの飲食物や、地域のものなどの販売を行うスペース。駅の売店として使うのも良い。